



平成24年度第1回 時事通信社賞 受賞のことば

時事通信社賞 年少 最優秀賞 1級

埼玉県 武笠幸正さん

この度は、素敵な表彰品をいただき、誠にありがとうございました。

日本語検定1級は最高峰で、ハイレベルな出題であり、しかも、オールラウンドな力が求められる超難関の試験です。しかし、私にとっては、それが却って意欲を掻き立てられ、合格した時の喜びや価値が非常に大きいものだったのだと、受検するに至りました。

そのような中で、私は日本語検定1級の出題傾向を分析しましたが、範囲が膨大であり、傾向に沿った勉強方法を見出すことは出来ませんでした。そこで、私はネットのサイトの辞書を利用して、二字熟語、三字熟語、四字熟語、慣用句、ことわざ、間違えやすい日本語等の「あ」～「ん」までの索引にある全ての言葉を、記憶するように努めました。一見遠回りのように見えて、最高レベルの1級に於いては、結局はこれが非常に有効な学習方法だったと感じました。結果として、一発合格を達成した上に、成績優秀な最年少合格者として、時事通信社賞の最優秀賞という大変栄誉ある賞を賜り、一生の財産となる貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

時事通信社賞 年少 最優秀賞 2級

智辯学園奈良カレッジ中学部三年
宮本 佳奈さん

小学部五年生のとき先生から紹介され受けるようすすめられたのが、日本語検定受検のきっかけでした。毎日使っている言語だから学ぶ必要なんて無いと最初は思っていたのですが、いざ勉強してみると、私の知らない日本語がいっぱいあり、自分が知っていたことは日本語の基本に過ぎないとハッキリ認識させられました。これを機に母国語である日本語に魅せられ、国文法に興味を持ちのめり込み、毎年受検するようになりました。

この検定をきっかけに、私は様々なことに気づきました。先程述べた日本語の面白さの他に書き言葉の美しさ、普段の言葉遣いの誤りや正しい会話表現などです。受検勉強を続けていく中でそれらを少しずつ自分のものにできていると思います。資格が取れる上、将来日本人として役に立つことも受検勉強を通して身に付けることもできる日本語検定。身近な日本語を考えさせられる良い機会なので出会えて良かったです。